令和５年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

くらし部会（精神障がいチーム）活動報告

1. 本年度のねらい

・事例検討や実践報告、意見交換より出された地域の現状や課題を探り、誰もが安心して

　暮らすことができる地域作りを目指す。

・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの協議の場として、研修会等を取り入れ支援

　力の向上を図るとともに、関係機関のネットワークの構築を目指す。

［２］部会の開催及び取組内容

　　●開催日時

　　◎奇数月第３木曜日　１３：３０～１５：００

　　・第１回　５月１８日（木）　令和4年度活動報告・令和5年度計画　　　　　　　　　19名

　　・第２回　７月２０日（木）　精神障がい者地域生活支援関係者研修会①

　　　　　　　　　　　　　　　　事例検討・グループワーク

　　　　　　　　　　　　　　　　事例及び発表者

　　　　　　　　　　　　　　　　「アルコール依存症の方と家族への支援について」

　　　　　　　　　　　　　　　　阿智村役場　保健師　尾賀　香緒里　氏

スーパーバイザー飯田HP精神科部長 南風原 泰 氏　　　35名

　　・第３回　９月２１日（木）　精神障がい者地域生活支援関係者研修会②

　　　　　　　　　　　　　　　　事例検討・グループワーク

　　　　　　　　　　　　　　　　事例及び発表者

　　　　　　　　　　　　　　　　「精神疾患を持つ兄弟の生活支援」

　　　　　　　　　　　　　　　　喬木村役場　福祉係長　畔上　雅美　氏

スーパーバイザー飯田HP精神科部長 南風原 泰 氏　　　30名

　　・第４回　１１月１７日（木）精神障がい者地域生活支援関係者研修会③

　　　　　　　　　　　　　　　　事例検討・グループワーク

　　　　　　　　　　　　　　　　事例及び発表者

　　　　　　　　　　　　　　　　「地域生活の不安にどのように寄り添うか」

　　　　　　　　　　　　　　　　飯田病院　ソーシャルワーカー　尾澤　徳行　氏

　　 スーパーバイザー飯田HP精神科部長 南風原 泰 氏　　　28名

　　・第５回　１月１８日（木）　研修会振り返り・研修会より出された課題について・他　17名

　　・第６回　３月２１日（木）　令和５年度のまとめ・アンケートより　　　　　　　　　13名

［３］成果

　　・複数回のグループワークで、活発な意見交換と学習が行えた。

・新しい情報と考え方を学べた。また、振り返りや新たな気づきがあった。

・多様な職種・経験者が集まることで、より質の高いグループワークに繋がる。

・事例検討を通し「にも包括」（特に横連携）について考える機会になった。

・研修会では、様々な職種の方と違う角度から討論できる。内容が濃く勉強になる。

・事例発表者の「これでよかったのか？」という感想を聞いた時は、皆同じ想いで取り組む場

面があるのだと思えた。悩み迷いを話し合う事で何らかの糸口が出てくる。

　　・現業に生かせるアイディアを得ることができた。

　　・部会、研修会に参加することで困難ケースや関わり方等、以前よりも広い視点が持てるよう

になった。

［４］次年度へ向けて（課題）

　　・他部会との合同の取組や研修会の機会があると良い。

　　・参加者を見ると行政からの参加が少なく感じる。令和６年４月から施行される改正精神保健

福祉法では、市町村の支援対象に精神障がい者のほか、精神保健に課題を抱える者も含まれ

ることになる。こういった視点からも、行政と関係機関との連携強化、顔の見える関係づく

りは重要。

　　・地域とのつながりという面で、病状と関わり方を地域の方々に理解してもらう必要があると

感じる。学習に輪を広げる事や関わり方を考えた地域づくり。

　　・親が高齢になる中で、40～50代の精神疾患の子どもが在宅で親に抱えられて生活している

事例が多い。支援者に繋がっておらず地域包括としての関わり方の悩みあり。

　　・南風原先生のコメントは大変参考になる。この機会は継続してほしい。

　　・事例検討、グループワークは学習が深まるため継続すると良い。

　　・若い世代の方の居場所作りができると良い。

　　・報酬改定について。